

国語 全学統一方式・学部個別配点方式

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
一 現代文	マークと記述を併用	45	80分
二 現代文	マークと記述を併用	15	
三 古文	マークと記述を併用	40	
四 漢文	マークと記述を併用	15	
合計		100	

〈問題選択について〉

方式	学部	解答する問題
全学統一・学部個別	文学部	一、二、三または一、三、四
	上記以外	一、二、三

*合計点が各学部(専攻等)および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

*文学部では、「二 現代文」と「四 漢文」は選択問題です。

【出題の基本方針】

全体として、高等学校の学習を基礎として、大学入学後の学びにとって必要なレベルの文章読解力を問うように問題文を選び、出題している。現代文では、文章全体の主旨や文脈の読解が進むように問いの順序も考慮して出題した。漢字や語彙の設問に関しては、基本的な知識に留まらず、文脈内で応用力・理解力によって解決する能力も含めて

も評価できるように設問した。文学史問題は、単に作品や作家の名前を暗記するのではなく、文学史の流れを理解しているかどうかを問うている。古文・漢文も文章全体の主旨や文脈に則して本文の内容を把握する読解力を中心に出題しているが、読解のための文法や語彙などの基礎についても、きめ細かく評価できるよう工夫している。また、現代語訳は、表現の微妙なニュアンスを上手く表現できるかを問うた。

【学習のポイント】

- ・学習にあたっては、まず、文章の全体の大意を把握し、その上で丁寧に作者が表現したかった趣旨を読み取るように心がけてほしい。これは、現代文・古文・漢文すべてに当てはまる。大意を把握した上で、細部も丁寧に読み込むことで、論旨の理解に混乱がないかどうかを確認していくこと。
- ・語彙、句法、表現技法などについては、普段から辞書に親しみ、気になる表現に常に興味を持つようにすること。漢字は、同音異義語にも注意すること。また、漢字の書き取りは、丁寧に正確に書くように普段から心がけてほしい。
- ・繰り返し、言い換えなどで強調されている箇所が作者の主張したい内容であるので、大意を理解するためには、そこをどのように見出すかが重要である。一方、言い換えは、別の内容を述べているようにもみえるため、それに惑わされず、文脈を正確にたどって読めるようにすること。
- ・文学史については、教科書レベルの知識は一通り修得しておき、単なる作者や作品の暗記でなく、文学史の流れを踏まえた学習をしておくことが重要である。
- ・古文は、基礎的な語彙や文法についての知識をしっかり身につけ、それを踏まえて正確に意味を読み取れるように心がけてほしい。主語や動作の主体が誰か、敬語表現にも留意しつつ日頃から丁寧な読解を心がけることが重要である。
- ・日記や物語中の和歌の技法・形式についても注意しておくこと。
- ・漢文は事柄・文章・文字などを、二つ並べて対にして構成されることが多い。日頃の学習において、その構造を読み取る力をつけてほしい。